

伝 統 歌 舞 伎 の 祭 典

平成29年度

第41回県民芸術祭参加事業

赤城古典芸能保存会 (渋川市)

ごしょざくらほりかわ ようち べんけいじょうし だん
「御所桜堀川夜討 弁慶上使の段」

約50分



みなかみ町 子ども歌舞伎 (みなかみ町)

さんばそう
「三番叟」

しらなみごにんおとこ
「白波五人男」

約30分

横室歌舞伎保存会 (前橋市)

いちのたにふたばぐんき くまがいじんや
「一谷嫩軍記 熊谷陣屋」

約70分

2017年 11月 25日 土

11:00 開演 (10:30 開場)

ベイシア文化ホール (群馬県民会館) 小ホール

入場無料 直接会場にお越しください
問い合わせ 公益財団法人群馬県教育文化事業団
前橋市文京町 2-20-22 TEL 027-224-3960

- 主催 第41回県民芸術祭運営委員会 / 群馬県 / 公益財団法人群馬県教育文化事業団
- 共催 群馬県伝統歌舞伎保存協議会
- 協力 NPO法人ぐんま郷土芸能助っ人塾
- 後援 群馬県教育委員会 / 上毛新聞社 / 朝日新聞前橋総局 / 毎日新聞前橋支局 / 読売新聞前橋支局 / 産経新聞前橋支局 / 東京新聞前橋支局 / 共同通信社前橋支局 / 時事通信社前橋支局 / NHK 前橋放送局 / 群馬テレビ株式会社 / FM GUNMA

伝統歌舞伎の祭典

赤城古典芸能保存会 (渋川市)

渋川市赤城町の歌舞伎は、江戸時代に始まりました。上の森八幡神社境内に浄瑠璃人形、歌舞伎併用の舞台があり、また赤城神社の舞台でも上演しました。

昭和35年に上三原田の歌舞伎舞台が国重要有形民俗文化財に指定され、44年に保存会が結成されました。伝統歌舞伎の祭典や渋川市民文化祭に出演するほか、平成13年国民文化祭「農村歌舞伎 in あかぎ」、19年には全国地芝居サミットにも出演しました。渋川市赤城公民館の柿落とし公演や27年の上三原田歌舞伎舞台の改修復活公演では、四代会長石田栄内以下の「奥州安達ヶ原」の上演に成功し、長年の小中学生や後継者の育成、伝統芸能の継承を評価され群馬県総合表彰を受賞しました。



みなかみ町子ども歌舞伎 (みなかみ町)

平成17年度ぐんま郷土芸能活性化事業の一環として立ち上がりました。その後、みなかみ町教育委員会ならびに水上歌舞伎一座の協力を得ながら子どもたちと保護者が自主的に活動を続け、みなかみ町子ども歌舞伎を立ち上げました。

みなかみ町カルチャーセンターなど地元のホールをはじめ利根沼田文化会館、県民会館など町外の大きな会場でも公演を行い、26年には石川県小松市の全国子供歌舞伎フェスティバルにも出演しました。

今回は新人の小中学生も含めての出演です。稽古では難しいセリフの言い回し、歌舞伎ならではの独特な動きを一生懸命練習しました。子どもたちの伝統芸能への熱意に大きな拍手をお願いします。

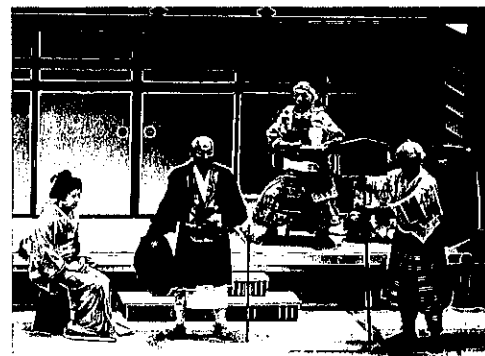


横室歌舞伎保存会 (前橋市)

横室の歌舞伎の始めを伝える資料として、田村家に残る『横室歳代記』があります。そこには「宝暦二年、当村踊此の年より初め候也」と記されています。「菅原伝授手習鑑」が延享3年(1746)完成の作品ですから、もしそれを宝暦2年(1752)に踊ったとすれば、実にこの横室の地まで6年で作品が伝わったこととなります。また、「明和九年四月、踊、矢口渡」とあり、有名な平賀源内作「神霊矢口渡」の江戸での初演から2年後には横室でも上演をしています。

横室では、踊りに明け暮れるだけでは事足りず、寛政7年(1795)「今年踊幕、装束、少し出来」とあるように幕や衣裳を江戸から買い求めたり、製作したようです。所有管理する600点近い歌舞伎衣裳のうち、15点が県重要有形民俗文化財に指定され、七代目市川團十郎が着用したと伝わる衣裳もあります。

現在は、伝統歌舞伎の祭典などに出演するほか、中学校での公演など盛んに活動しています。



ベシシア文化ホール (群馬県民会館)

前橋市日吉町1-10-1 TEL 027-232-1111

- 前橋駅からバス約8分「県民会館前」下車
- 中央前橋駅から徒歩約15分
- 関越自動車道 前橋I.Cから車で約15分
- 北関東自動車道 駒形I.Cから車で約25分

- ・駐車場には限りがあります。ご来場の際は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。
- ・当館駐車場が満車の場合は、市営パーク城東(有料)などをご利用ください。

